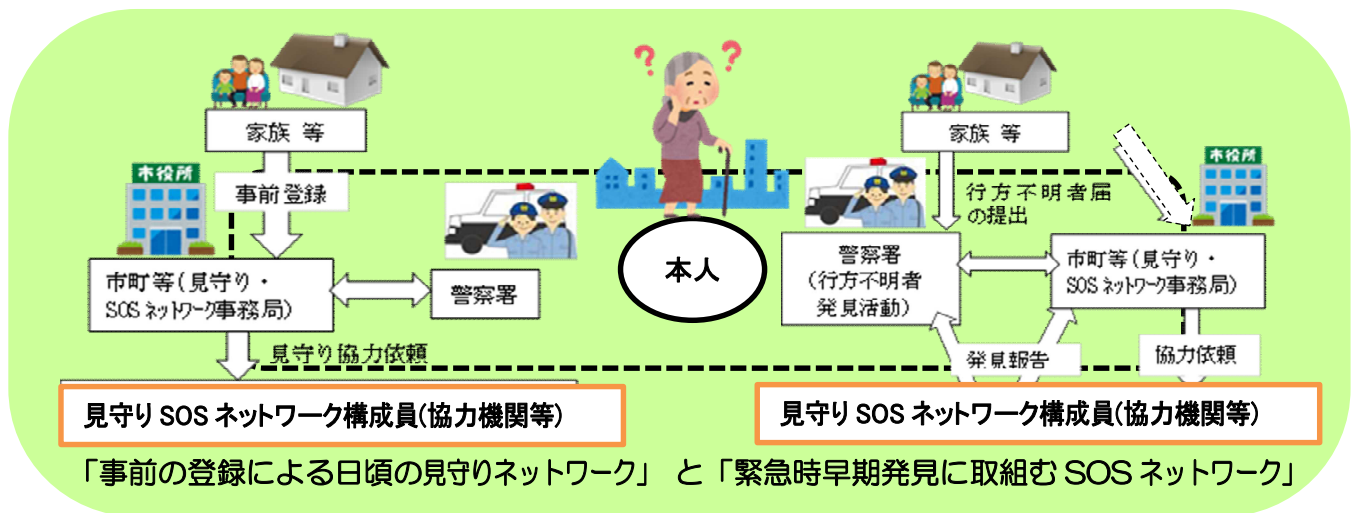


～認知症になっても安心して暮らせるために～

## 見守り SOS ネットワーク協力機関等の募集

### ◆ 相生市見守り SOS ネットワークとは？

見守り SOS ネットワークは、市内に在住する高齢者等を、各関係機関や協力機関とのネットワークや地域ぐるみで速やかに発見・保護し、その後の生活を支援していくネットワークシステムです。



## 見守り SOS ネットワークに協力いただける方を募集しています！

### ◇見守り SOS ネットワーク協力機関等の役割とは？

相生市では、在宅で生活されている高齢者及び障害者の方や家族が安心して地域で生活できるよう、協力して下さる市内の団体や企業を募集しています。

登録いただいた方には、地域での日常的な見守りや、気になる方を見かけた際の声かけや関係機関等への連絡、また、高齢者等が行方不明になった際に可能な範囲で早期発見にご協力いただくものです。(捜索など活動を強制するものではありません。)

### ◇ご協力(登録)いただける場合は？

「相生市見守り SOS ネットワークの協力機関の登録届出書」を長寿福祉室へご提出ください。

多くの団体・企業・事業所の方々に見守り SOS ネットワークの趣旨にご賛同いただき、ご協力いただきますようお願いします。

問い合わせ先 相生市長寿福祉室 TEL (22-7124)



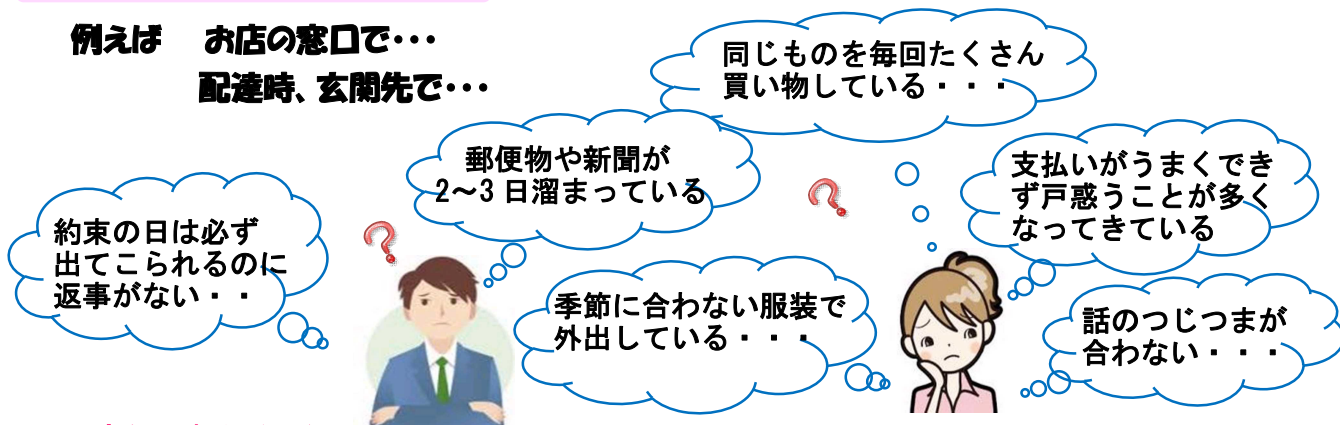
# 認知症の方や認知症かもしれない方への対応 ～見守りのポイントも含めて～

認知症という病気を持っていても基本的な接し方は、変わることはありません。ただ、認知症という病気を知って、正しい理解に基づく対応が必要です。日々の生活や業務の中で、気軽なあいさつから始めて見守りましょう。

## <見守りのポイント>

こんなサインに気づいたら・・・

例えば お店の窓口で・・・  
配達時、玄関先で・・・



○ 病気や転倒などで、動けなくなっているかも・・・

○ 認知症の方が、生活するのに困っていることがあるかも・・・

見守りの中で、「いつもと違う」「何かおかしい」感じた場合には・・・

【連絡先】 相生市地域包括支援センター ☎ (23-7260)  
(認知症相談センター)

## <認知症の方や認知症かもしれない方への声かけのポイント>

- 1、驚かせない
- 2、急がせない
- 3、自尊心を傷つけない

具体的に声をかける時は・・・

- 余裕をもって自然な笑顔で対応する
- 相手に目線を合わせてやさしい口調で
- 相手の視野にはいったところで声をかける  
※ 後ろから声をかけない(唐突な声かけは禁物)
- 穏やかにはっきりした滑舌で
- 相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する

認知症という病気にかかると、判断能力が低下します。急がされたり、同時に複数の質問に答えることが苦手になります。相手の反応を見ながら会話をしましょう。相手の言葉をゆっくり訊き、何をしたいのかを相手の言葉を使って推測・確認していきましょう。

### 認知症サポーターになりませんか？

認知症サポーター講座(約1時間)を受講することで、認知症という病気と接し方などを学ぶことができます

※ 受講すると「認知症サポーター」となり、「オレンジカード」が渡されます。

【問い合わせ先】：相生市長寿福祉室 ☎ (22-7124)

「認知症サポーター」は、認知症を正しく理解して対応し、認知症の方やその家族を暖かく見守る応援者です。「オレンジカード」をつけて、地域での見守り等にご協力をお願いします。

